

第1回決算審査特別委員会会議録

- 1 開会日時 平成28年9月2日（金）午前11時50分
- 2 閉会日時 平成28年9月2日（金）午後0時2分
- 3 会議場所 議会委員会室
- 4 出席委員
 - 1 番 佐々木雄司君 4 番 保田 守君 5 番 丸山 明君
 - 6 番 治徳 義明君 7 番 原田 素代君 10 番 北川 勝義君
 - 13 番 岡崎 達義君 17 番 金谷 文則君
- 5 欠席委員
な し
- 6 説明のために出席した者
な し
- 7 事務局職員出席者
議会事務局長 奥田 吉男君 主 査 青木 智彦君
- 8 協議事項
 - 1) 委員長、副委員長の互選について
- 9 議事内容 別紙のとおり

午前11時50分 開会

○議会事務局長（奥田吉男君） それでは、始めさせていただきます。

ただいまから決算審査特別委員会の委員長、副委員長の互選を行っていただきます。赤磐市議会会議規則第126条の規定により、互選の方法は単記無記名投票、もしくは指名推選のいずれかとなっております。どちらかの方法によって、まず委員長を決めていただくことになりますが、今現在、委員長、副委員長がともにおりませんので、この場合は、議会委員会条例第10条第2項の規定により年長の委員が委員長の職務を行うとしております。この中で年長者であります丸山委員に委員長の職務をお願いしたいと思います。

それでは、お願いします。

○年長委員（丸山 明君） それでは、委員長の互選について、互選の方法は、規則では単記無記名投票、または指名推選でということになっております。

皆さん、いかがいたしましょうか。

○委員（北川勝義君） 手挙げとんじゃ。

○年長委員（丸山 明君） はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） 指名推選にしてください。

○年長委員（丸山 明君） 指名推選でという御意見をいただきました。

じゃあ、御指名のある方はお願いします。

はい、保田委員。

○委員（保田 守君） 私は、実績のある北川……。

○委員（北川勝義君） 何を言よん。ちょっと待つて。

○年長委員（丸山 明君） 北川委員という話がありますが。

○委員（北川勝義君） 違う、違う、違うがな。指名推選するか記名投票するかというて決めて、どっちかわからんのに、それを先に諮らにやあおえん。

○年長委員（丸山 明君） わかりました。今まで指名推選が多かったというような御意見もあったもんですから。失礼しました。

皆様、それでは指名推選の方法と単記の無記名投票という2つの方法があるということでございますので、まずどちらでするのがよいかということで御意見いただきたいと思います。

○委員（北川勝義君） じゃあけん、僕は指名推選と言うたんじゃ。

○副議長（岡崎達義君） それに賛成かどうか。

○委員（北川勝義君） そうそう。まあ、反対の意見ねかったんじやったら、それを……。

○副議長（岡崎達義君） 指名推選でいいか。

○年長委員（丸山 明君） 指名推選でというお声がありますが、よろしゅうございますか、それで。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○年長委員（丸山 明君） わかりました。ありがとうございました。

それでは、指名ということで。済いません、十分慎重に進めたいと思ってたんですが、失礼しました。

指名推選でということで皆様の合意をいただきましたので、御指名を改めていただきたいと思います。よろしくお願いします。

○委員（保田 守君） はい。

○年長委員（丸山 明君） はい、保田委員。

○委員（保田 守君） 経験豊富な北川委員にお願いしたいと思います。

○年長委員（丸山 明君） はい、わかりました。

はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） 去年も慎重にやられたんで、原田さんと佐々木委員、副委員長で。

○年長委員（丸山 明君） 今、2つの案が出てまいりました。1つは北川委員、もう一つは原田委員にお願いをしたいという指名でございますが、いかがいたしましょうか。そういう2案が出たんですが。

○委員（原田素代君） はい。

○年長委員（丸山 明君） はい、原田委員。

○委員（原田素代君） 今回は、委員長の立場からではなくて委員の立場から決算委員会に臨みたいと思っておりますので、委員長をお受けしないでいきたいと思っております。

○年長委員（丸山 明君） というふうな意見でございます。個人的な意見はともかく……。

○委員（北川勝義君） ちょっと待って。

○年長委員（丸山 明君） はい、どうぞ。

○委員（北川勝義君） 別にやれやらんとか、そねん話じゃのうて、去年はやりてえってやられてやったんじゃから。じゃから、やられりゃあええんじゃねえかと思うたのを僕は言ようるだけで。今回は一委員として言いたいんですというのは、それは何を言よんか意味が、決算委員会というのは委員長であろうと皆さんどなたが言うてもええんで、そこのところは踏まえて、皆さんでええ人にやっていただきゃあええんで。仮に私は、原田さん、佐々木さんで去年やられて割にスムーズにやられたからええんじゃねえかと思うたけど、別にどうこう、誰がなろうと別にええんじゃけど、決められりゃあええんかなと思うたんで、個人的な考えで、この委員長としてはいけんのんじゃと、委員として意見言いてんじゃという話はナンセンスなんです。これは大変申しわけねえ、本人が取り下げんとおえんけど、するのは別で、するせん、僕がせんとかしとうねえとかという話をしょんじゃのうて、この委員会の中でそういう意見は、委員長、悪いけど、仮の委員長じゃな、今。これはもう、そういう決めるのにしたら、そういうことでやったら意見言いてえからやらんじゃ言うたら、ほんなら例えば僕も委員長、意見言いてえからやらんでということになるから、そういう話は訂正してもろうとこうや。そうせなんだ

ら、別に今言うたの、本音の気持ち言うたこってええんじゃけど、委員会の中の審議じゃあちよっとふさわしゅうねえと思う。僕はそう思うとんで。僕も本当は言いてえ、質問してえからというて言いてえがそういうわけにはいきませんからな。

○臨時委員長（丸山 明君） はい、岡崎委員。

○副議長（岡崎達義君） 私も去年と同じでいいと思います。委員長、副委員長。

○年長委員（丸山 明君） ほかの御意見。皆さん、いろいろ意見が出ますが、最終的には採決でとっていきたいと思いますけど。特に何か御意見があれば賜りますが、最終的には決でとっていきたいと思います。

○委員（北川勝義君） 委員長だけ決めとかにやおえんわな。

○年長委員（丸山 明君） そうです。もうとりあえず委員長を決めないと。

○委員（北川勝義君） ちょっと削除してえてください。僕の言うた副委員長。おえんわ、早う言うたら。決まってねえのに。

○年長委員（丸山 明君） そこら辺は、だから後。

○委員（治徳義明君） はい。

○年長委員（丸山 明君） はい、治徳委員。

○委員（治徳義明君） 私も去年どおりでいいと思います。

○年長委員（丸山 明君） 皆さんの御意見いただいたんですが、よろしいですか。ほかに御意見のほうがあれば賜っておきますが。最終的にはもう採決でとりたいと思いますので。

○委員（北川勝義君） 委員長が決まらにゃあ、副委員長決めちゃあおけんけん、それだけ。

○年長委員（丸山 明君） そうです。まず委員長を決めないといけませんので。だから、それは削除しておきますから。

○委員（北川勝義君） それから、委員長。

○年長委員（丸山 明君） はい。

○委員（北川勝義君） さっき言うた原田委員が言われたこと、よう気持ちはわかつとんじゃけど、原田委員のそれだけ、ちょっと訂正か。委員の気持ちはわかるんじゃけど、それだけ、これ、委員会じゃあ言うちゃあいけまあとするて。それだけ削除してもらうか何か。

○年長委員（丸山 明君） まあ、御意見持つことはもう仕方がないと思う。

○委員（北川勝義君） そりゃあもう、そんなんじやつたら絶対おかしゅうなる。

○年長委員（丸山 明君） 後で事務局とちょっと相談します。

○副議長（岡崎達義君） 決とろうや、もう。

○年長委員（丸山 明君） 待たせておりますので。

それじゃあ、採決します。

ということで、ではお二人の名前をいただいたもんですから。順不同で名前を申し上げますから、それで採決をお願いします。採決ということでお願いします。

では、北川委員に賛成の方、挙手願います。

〔賛成者挙手〕

○年長委員（丸山 明君） 2人。

原田委員に賛成の方。

〔賛成者挙手〕

○年長委員（丸山 明君） お二人。

○委員（北川勝義君） 3人。ぱっと手を挙げてくれにゃあおえんで。

○年長委員（丸山 明君） わかりました。4人ということでございます。

同数の場合は私ということになるんですが、もう終わりましたので。

○委員（北川勝義君） かわってあげてん、早う、委員長。

○年長委員（丸山 明君） まあ、そう焦られな。

じゃあ、大変あれですが、よろしくお願いします。

〔委員長交代〕

○委員長（原田素代君） それでは、ただいま決算審査特別委員会の委員長ということで、指名推選で皆さんから御推選をいただきましたので、大変非力ではございますがしっかり頑張っ
てまいりたいと思います。

引き続きまして、副委員長の互選でございますが、先ほどのように投票または指名推選とい
うことですが、どちらで。

○委員（北川勝義君） 指名推選。

○委員長（原田素代君） 指名推選でよろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（原田素代君） じゃあ、指名推選ということで、御提案を委員の方からお願いでき
ませんか。

はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） 息がよう合われとると思うんで、今度は丸山委員がされたらどんな
でしょうかねと思いました。今の進行もよかったんで。

○委員長（原田素代君） ほかに、もし指名推選でいらっしゃれば。立候補もちろんあると
思うんですけど。

○委員（北川勝義君） 立候補はええが、立候補やこうしようたらややこしゅうなる。

○委員長（原田素代君） ほかに出ませんか。

ほかになければ、丸山さんのお名前しか出てないので、皆さんのほうで。いらっしゃらな
い。

じゃあ、丸山委員を副委員長として皆さんのほうから推選するということでよろしいです
か。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（原田素代君） それでは、丸山委員、副委員長としてこちらのほうにおいでください。

○副委員長（丸山 明君） 決算のほう、私なりに勉強したいというふうに思います。そして、委員長をできればお支えしたいという気持ちはございますので、頑張ってまいります。皆さんの、ベテランの方が多くいんで、ぜひ御協力をいただきたいというふうに切に願います。よろしくお願いします。

○委員長（原田素代君） お願いします。

それでは、これで第1回決算審査特別委員会を閉会といたします。

お世話になりました。

午後0時2分 閉会